

○ 教科に関する調査の状況

【レーダーチャート】

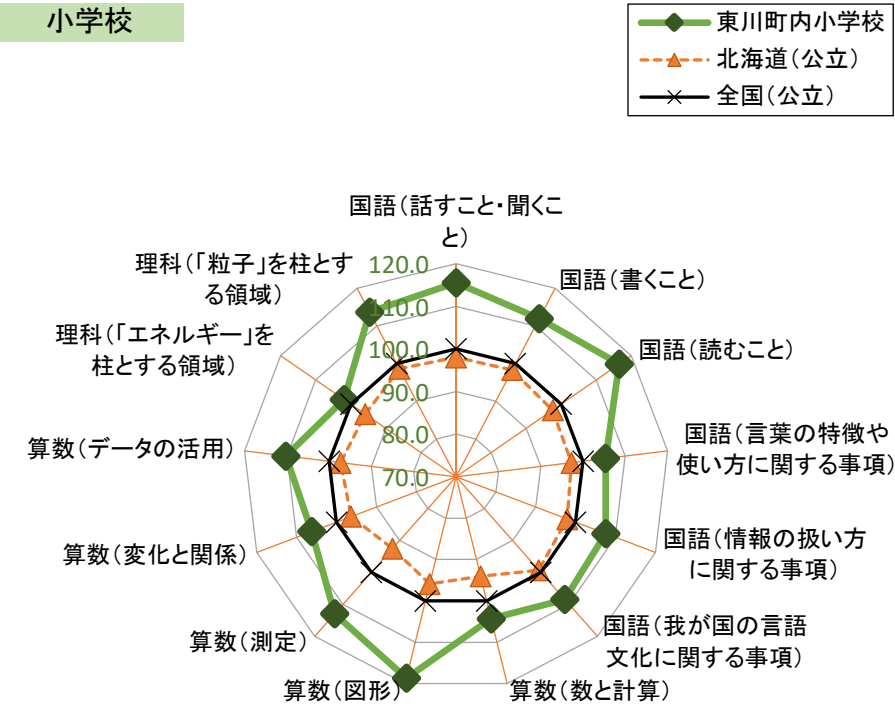
- ・教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)
- ・中学校理科の結果は、IRTスコアで表されるため、レーダーチャートに表示していません

【平均正答率・平均IRTスコア】

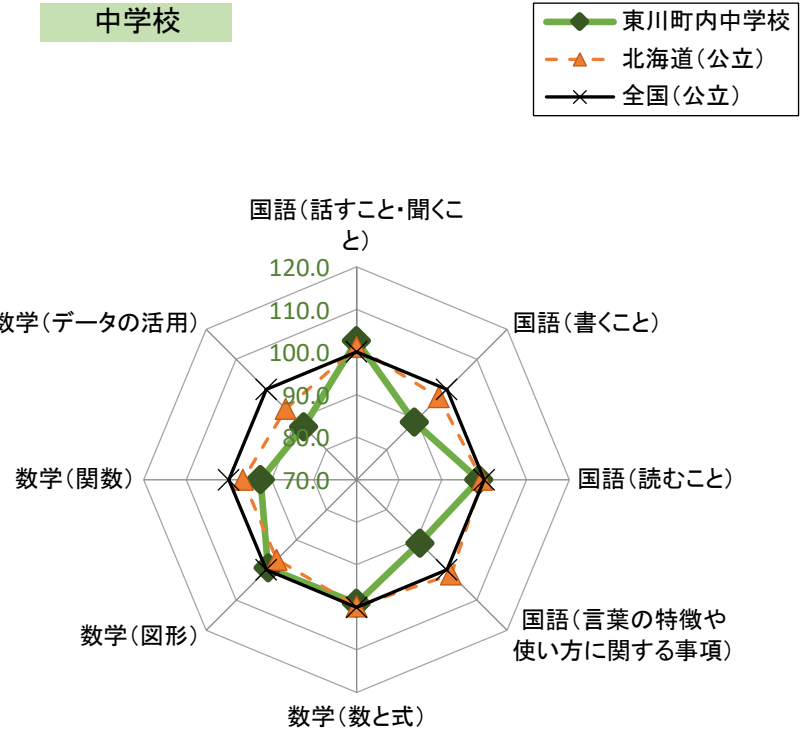
※中学校理科は平均IRTスコア

	小学校			中学校		
	国語	算数	理科	国語	数学	理科
東川町	75.0	63.0	65.0	52.0	46.0	502
北海道(公立)	65.4	55.2	56.3	54.0	46.7	505
全国(公立)	66.8	58.0	57.1	54.3	48.3	503

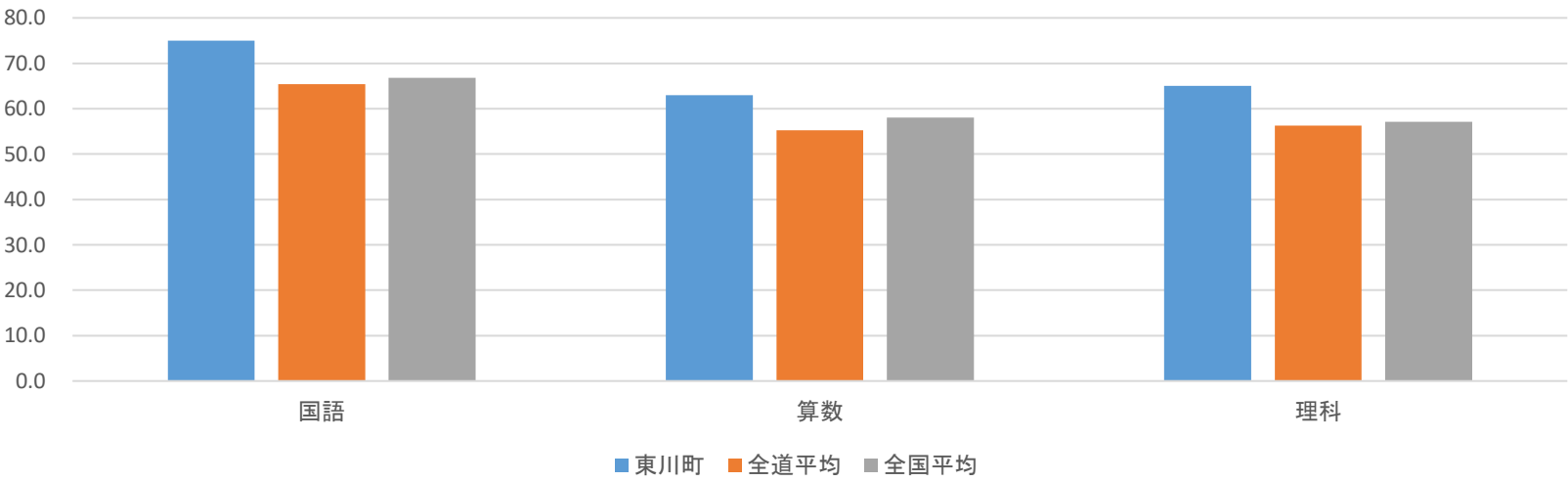
小学校



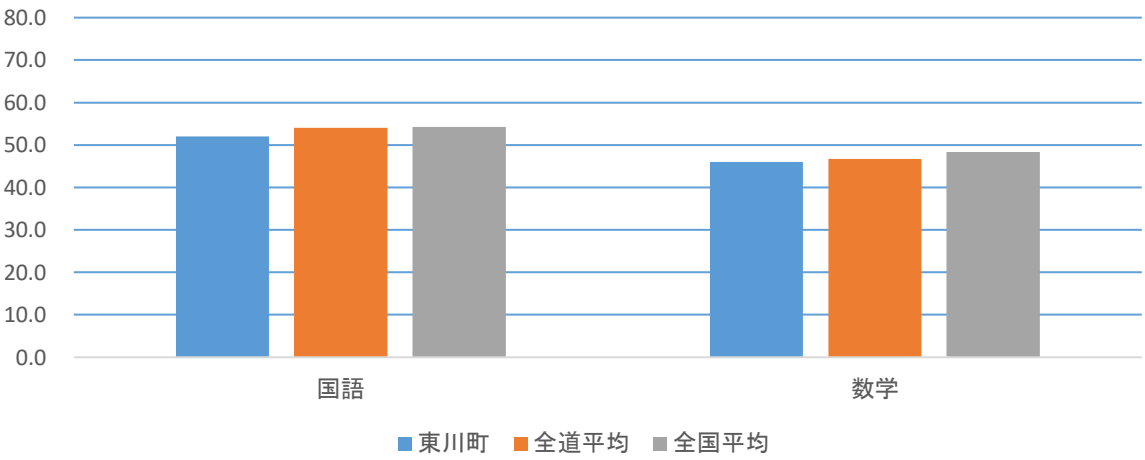
中学校



小学校学力調査結果



中学校学力調査結果

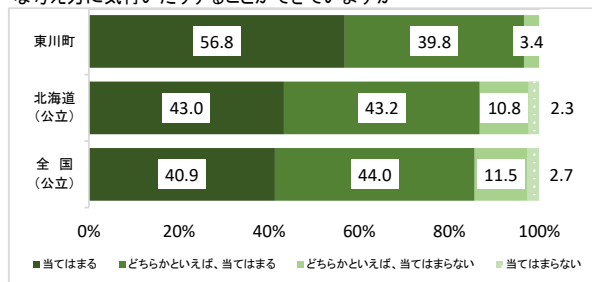


○ 児童生徒質問調査の状況

小学校

＜児童質問＞

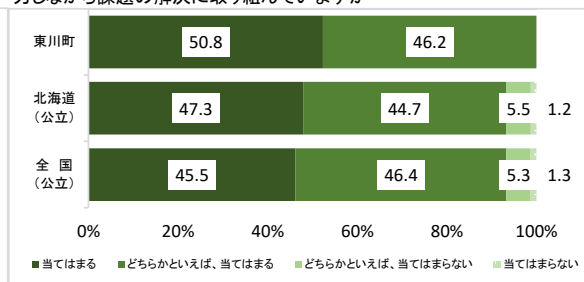
学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか



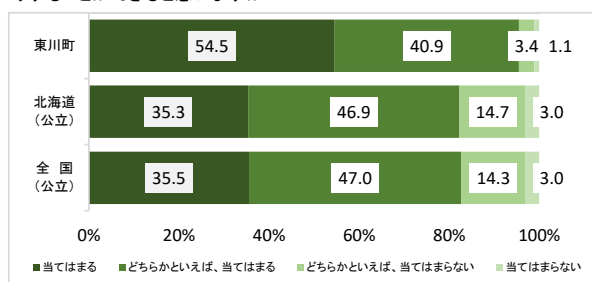
中学校

＜生徒質問＞

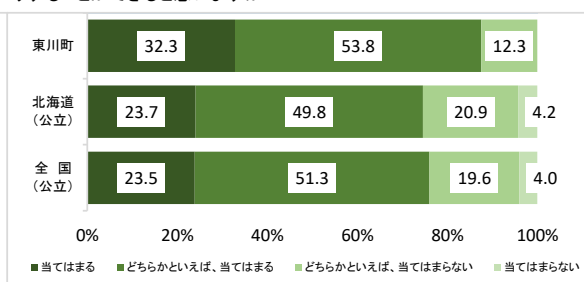
授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか



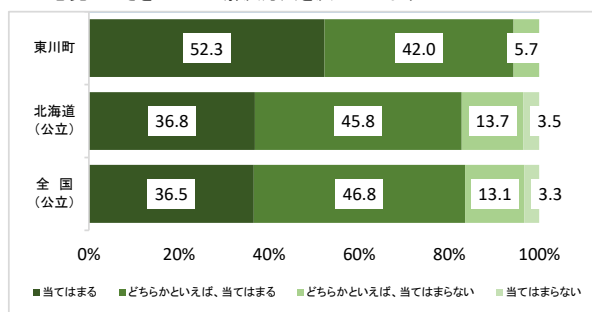
授業で学んだことを、次の学習や実生活に結び付けて考えたり、生かしたりすることができると感じますか



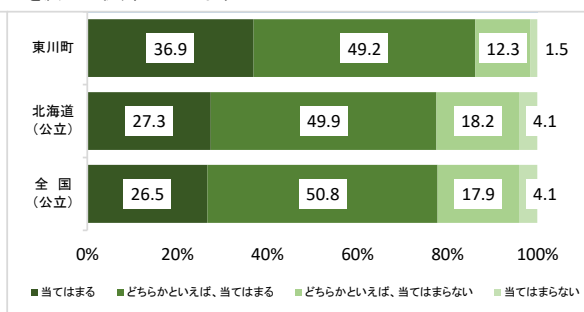
授業で学んだことを、次の学習や実生活に結び付けて考えたり、生かしたりすることができると感じますか



あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか



学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか



○ 今後の改善方策

小学校

全教科で全道、全国平均を大きく上回ったが、国語では、条件に合わせて書くことに課題があるので、情報を正確に読み解き、論理的に整理し、説得力のある文章で表現する能力を強化していく。算数では、小数や分数のたし算に弱いことから、小数や分数の意味の理解を深める。図形の問題にも弱いことから、根拠をもとに考えるよう取り組む。理科では、知識を持っているだけでなくそれを基に論理的に思考し、自分の言葉で適切に表現する能力を高めていく。

中学校

国語では、「語彙力」や「書く」ことが弱い点を踏まえ、頻繁に短文を書く場面を設け、様々な条件の下、意見、感想、批評などを書く取り組みを行う。数学では、思考過程を大切にした対話的な授業を多く取り入れ、基本の用語や定理を定着させるとともに、論理的な記述を大切にする。理科では、元素記号と化学式を混合していたり、元素記号自体が定着していない傾向があることから、基礎知識の定着のため、授業ははじめに前時の振り返りを行い、授業に関連した内容が出た際には、生徒に振り返りを促すなどの取り組みを行う。